

人に倣うなら

今日の西条市を築き
支えてこられた先人の方々。
その遺業を尊び
数々の功績に感謝するとともに
軌跡をひもとく学ぶことが
西条市のさらなる成長のための
指針となります。

We honor the great accomplishments
and give thanks to the many
achievements of our predecessors
who built and sustained the city of
Saijō and made it what it is today.
Unraveling and learning this history
will serve as guiding principles for
Saijō City's future growth.



故 村上 徳太郎氏

明治37年、現在の西条市中野に生まれる。大阪帝国大学大学院医学部を卒業。医学博士となって地域医療の向上に尽くされとともに、愛媛県教育委員会委員、西条市長(第8・9・10代)等の要職を歴任され、市政の発展に尽力された。



故 十河 信二氏

明治17年、現在の新居浜市中萩町に生まれる。東京帝国大学政治学科を卒業。昭和20年第2代西条市長となり、市民の融和と市政の進展に努力され旧西条市の礎を築かれた。また、昭和30年には国鉄総裁に就任され、新幹線の生みの親となるなど、鉄道事業の発展に寄与された。



故 渡邊 武氏

大正13年、現在の西条市広江に生まれる。中城青年学校本科を卒業。壬生川町議会議員を1期、愛媛県議会議員を6期24年の長きにわたり務められ、県議会議長に就任されるなど、地方自治の伸張に尽力された。



故 河上 辰男氏

大正5年、現在の東京都世田谷区に生まれる。慶應義塾大学を卒業。壬生川町長、東予町長、東予市足後市長として、5期18年余りの長きにわたり市政を担当し、東予市発展の基盤づくりに尽力された。



故 桑原 富雄氏

大正12年、現在の西条市本町に生まれる。西条農業学校を卒業。西条市職員となり、西条市助役を経て、西条市長(第13・14・15・16代)に就任。地域経済の振興発展をはじめ、市政の各般にわたってその発展に尽力された。



故 伊藤 一氏

明治40年、現在の西条市黒瀬に生まれる。私立東京農業大学を卒業。広島県庁、愛媛県庁職員を経て、大保木村長、愛媛県議会議員、西条市長(第11・12代)に就任。半生を公共への献身一筋に歩まれ、東部臨海土地造成事業の着手等、県・市政の発展に尽力された。



故 西 健次氏

大正8年、現在の西条市小松町新屋敷に生まれる。西条農業学校を卒業。小松町議会議員となり、小松町助役を経て、小松町長(第3・4・5・6・7・8代)に就任。教育環境の整備。充実を図り文教の町を宣言するなど、卓越した政治力・行動力で小松町の発展に寄与された。



故 永野 眞平氏

明治25年、現在の西条市小松町新屋敷に生まれる。京都府立医学専門学校を卒業。長きにわたり児童・生徒・幼児の保健教育と健康保持に努められるとともに、地域医療活動の推進、住民の健康保全、予防の普及など、幅広い医療行政の発展に寄与された。



故 佐伯 勇氏

明治36年、現在の西条市丹原町長野に生まれる。東京帝国大学法学部を卒業。近鉄グループの総帥として生涯を社業の隆盛にささげられるとともに、佐伯記念育英会を設立するなど、教育文化の進展に寄与された。



田口 信教氏

昭和26年、現在の西条市国安に生まれる。広島修道大学大学院を卒業。オリンピックに3大会連続出場。ミュンヘンオリンピックでは、100m平泳ぎで世界新記録を樹立し金メダルを獲得するなど、数多くの国際大会で活躍された。

文化遺産

史に学ぶ

西条市は古くから開かれた文化の里。
縄文式文化、弥生式文化を伝える遺跡や出土品
また、重要文化財や名勝、
天然記念物などの貴重な文化遺産が
数多くあります。



河原津海岸 <県指定・天然記念物>

Saijō City is a land of culture that developed very early on. Therefore, it has many archeological sites and excavated articles that tell of the cultures of the Jōmon and Yayoi periods. It is also a place of many valuable assets such as Important Cultural Properties, sites of extraordinary beauty, and natural monuments.



興隆寺本堂 <国指定・重要文化財>

文中4(1375)年に再興された和様と唐様折衷の名建築。厨子、棟札、巻斗ともに国の文化財指定を受けています。



予州新居系図 <国指定・重要文化財>

東大寺戒壇院の長老示観国師凝然が、弘安4(1281)年、伊予の豪族新居氏の家系を詳細に書いたもので、日本三大古系図の一つにあげられています。



木造仏通禅師坐像

<国指定・重要文化財>

室町時代初期の優れた肖像彫刻。日本の仏像代表としてボストン美術館に展覧されたこともあります。



法安寺跡 <国指定・重要文化財>

飛鳥時代の建立とされる県下最古の寺院遺跡。聖徳太子の命により建てられたとも伝えられ、境内には塔と金堂の礎石が残されています。



毛槍投げ奴 <市指定・無形民俗文化財>



近藤篤山旧邸 <県指定・史跡>



永納山城跡 <国指定・史跡>

7世紀後半頃に築かれたとみられる西条市と今治市にわたる城跡。瀬戸内海を通じて近畿地方をめざす外敵を見張るためのものとされています。